

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 富山県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	3
富山市	富山市民病院	4
富山市	富山まちなか病院	5
高岡市	高岡市民病院	6
氷見市	金沢医科大学 氷見市民病院	7
黒部市	黒部市民病院	8
砺波市	市立砺波総合病院	9
南砺市	南砺市民病院	10
南砺市	公立南砺中央病院	11
射水市	射水市民病院	12
上市町	かみいち総合病院	13
朝日町	あさひ総合病院	14

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名					
病院名 中央病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	66,174 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	665	76.9	74.3	84.6
療養	-	-	-	-
結核	16	11.5	16.6	12.1
精神	50	64.9	67.3	69.9
感染症	2	13.8	11.6	6.3
計	733	74.5	72.4	81.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	10.5	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	1,034,814	
決算規模(千円)	619,117,599	
標準財政規模(千円)	315,831,404	
財政力指数	0.46248	
経常収支比率(%)	88.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.4
	将来負担比率(%)	222.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	29,353,030			
1 経常収益	29,307,389			
(1) 医業収益	25,428,302			
(うち修正医業収益)	25,187,427			
入院収益	16,504,319			
外来収益	8,323,759			
診療収入計	24,828,078			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	600,224			
(うち他会計負担金)	240,875			
(2) 医業外収益	3,879,087			
(うち国・都道府県補助金)	1,968,619			
(うち他会計補助・負担金)	1,590,641			
(うち長期前受金戻入)	95,045			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	45,641			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	29,236,732			
2 経常費用	29,179,373			
(1) 医業費用	27,676,231			
職員給与費	12,023,816	47.3	60.2	54.0
材料費	9,615,394	37.8	25.3	29.9
(うち薬品費)	5,184,908	20.4	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,271,109	16.8	11.6	13.4
減価償却費	2,132,613	8.4	9.0	8.1
経費	3,782,885	14.9	22.5	19.6
(うち委託料)	2,023,370	8.0	12.5	12.7
研究研修費	73,261			
資産減耗費	48,262			
(2) 医業外費用	1,503,142			
(うち支払利息)	153,255	0.6	1.2	1.0
(3) 特別損失	57,359			
損益	128,016			
純損益	116,298			
累積欠損金	6,158,299			
経常収支比率	100.4		105.6	105.8
医業収支比率	91.9		85.1	89.1
修正医業収支比率	91.0		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.2		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.2		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	6.2		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	94.2		93.6	97.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	43,708,675
1 固定資産	33,644,755
(1) 有形固定資産	32,260,093
(2) 無形固定資産	1,653
(3) 投資その他の資産	1,383,009
2 流動資産	10,063,920
(1) 現金及び預金	4,894,815
(2) 未収金及び未収収益	5,013,504
(3) 貸倒引当金()	2,859
(4) 貯蔵品	156,447
3 繰延資産	-
負債合計	32,593,610
1 固定負債	20,634,333
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,313,160
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,159,869
(7) 一ス債務	161,304
2 流動負債	6,765,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,498,534
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	695,956
(6) リ一ス債務	64,532
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,458,770
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,194,159
(1) 長期前受金	8,424,322
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,230,163
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	11,115,065
1 資本金	15,880,148
2 剰余金	-4,765,083
(1) 資本金剰余金	1,632,007
(2) 利益剰余金	-6,397,090
負債・資本合計	43,708,675
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,832,196	1,831,516
資本勘定繰入	324,720	324,720
計	2,156,916	2,156,236

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		富山県	
市町村・組合名			
病院名	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,638 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	12	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	232	87.2	87.2	85.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	232	87.2	87.2	85.8
平均在院日数(一般病床のみ)		81.2	80.0	71.2

設立団体の状況	
人口(人)	1,034,814
決算規模(千円)	619,117,599
標準財政規模(千円)	315,831,404
財政力指数	0.46248
経常収支比率(%)	88.6
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	13.4
将来負担比率(%)	222.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,042,306			
1 経常収益	973,551			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	973,551			
(うち国・都道府県補助金)	55,545			
(うち他会計補助・負担金)	523,166			
(うち長期前受金戻入)	378,695			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	68,755			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,006,117			
2 経常費用	1,006,117			
(1) 医業費用	893,160			
職員給与費	-	-	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	376,869	-	9.0	9.9
経費	515,190	-	22.5	28.4
(うち委託料)	452,599	-	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	1,101			
(2) 医業外費用	112,957			
(うち支払利息)	24,424	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-32,566			
純損益	36,189			
累積欠損金	238,791			
経常収支比率	96.8		105.6	104.2
医業収支比率	-		85.1	81.4
修正医業収支比率	-		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	53.7		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	50.2		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	44.8		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	43,708,675
1 固定資産	33,644,755
(1) 有形固定資産	32,260,093
(2) 無形固定資産	1,653
(3) 投資その他の資産	1,383,009
2 流動資産	10,063,920
(1) 現金及び預金	4,894,815
(2) 未収金及び未収収益	5,013,504
(3) 貸倒引当金()	2,859
(4) 貯蔵品	156,447
3 繰延資産	-
負債合計	32,593,610
1 固定負債	20,634,333
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,313,160
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,159,869
(7) 一ス債務	161,304
2 流動負債	6,765,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,498,534
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	695,956
(6) リ一ス債務	64,532
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,458,770
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,194,159
(1) 長期前受金	8,424,322
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,230,163
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	11,115,065
1 資本金	15,880,148
2 剰余金	-4,765,083
(1) 資本金剰余金	1,632,007
(2) 利益剰余金	-6,397,090
負債・資本合計	43,708,675
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	510,954	523,166
資本勘定繰入	121,621	243,243
計	632,575	766,409

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		富山市			
病院名		富山市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	43,430 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	489	67.0	59.5	71.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	38.2	42.7	47.3
感染症	6	-	4.1	0.5
計	545	63.6	57.3	68.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	13.6	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	413,938	
決算規模(千円)	193,502,159	
標準財政規模(千円)	106,266,086	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	86.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	104.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,110,064			
1 経常収益	12,104,764			
(1) 医業収益	10,222,342			
(うち修正医業収益)	10,067,949			
入院収益	7,139,487			
外来収益	2,610,101			
診療収入計	9,749,588			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	472,754			
(うち他会計負担金)	154,393			
(2) 医業外収益	1,882,422			
(うち国・都道府県補助金)	952,815			
(うち他会計補助・負担金)	848,240			
(うち長期前受金戻入)	21,559			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,300			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,086,543			
2 経常費用	12,081,243			
(1) 医業費用	11,643,518			
職員給与費	6,644,533	65.0	60.2	54.0
材料費	2,214,409	21.7	25.3	29.9
(うち薬品費)	1,043,801	10.2	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,170,608	11.5	11.6	13.4
減価償却費	771,752	7.5	9.0	8.1
経費	1,970,189	19.3	22.5	19.6
(うち委託料)	1,285,504	12.6	12.5	12.7
研究研修費	22,139			
資産減耗費	20,496			
(2) 医業外費用	437,725			
(うち支払利息)	17,237	0.2	1.2	1.0
(3) 特別損失	5,300			
損益	23,521			
純損益	23,521			
累積欠損金	4,646,184			
経常収支比率	100.2		105.6	105.8
医業収支比率	87.8		85.1	89.1
修正医業収支比率	86.5		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.8		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	8.3		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	91.9		93.6	97.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,522,893
1 固定資産	9,325,263
(1) 有形固定資産	9,313,529
(2) 無形固定資産	11,734
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,197,630
(1) 現金及び預金	1,179,529
(2) 未収金及び未収収益	1,984,172
(3) 貸倒引当金()	8,957
(4) 貯蔵品	42,886
3 繰延資産	-
負債合計	8,903,507
1 固定負債	6,375,461
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,266,728
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,108,733
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,362,138
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	769,119
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	471,798
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,077,370
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	165,908
(1) 長期前受金	582,493
(2) 長期前受金収益化累計額()	416,585
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,619,386
1 資本金	8,857,027
2 剰余金	-5,237,641
(1) 資本剰余金	10,224
(2) 利益剰余金	-5,247,865
負債・資本合計	12,522,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	976,963	1,002,633
資本勘定繰入	135,442	135,442
計	1,112,405	1,138,075

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		富山市			
病院名		富山まちなか病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	3,833 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	50	79.3	69.6	51.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	79.3	69.6	51.1
平均在院日数(一般病床のみ)		24.1	24.1	18.2

設立団体の状況	
人口(人)	413,938
決算規模(千円)	193,502,159
標準財政規模(千円)	106,266,086
財政力指数	0.81
経常収支比率(%)	86.7
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	7.5
将来負担比率(%)	104.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	852,053			
1 経常収益	846,743			
(1) 医業収益	793,522			
(うち修正医業収益)	793,522			
入院収益	467,204			
外来収益	249,426			
診療収入計	716,630			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	76,892			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	53,221			
(うち国・都道府県補助金)	2,940			
(うち他会計補助・負担金)	38,217			
(うち長期前受金戻入)	294			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,310			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	936,815			
2 経常費用	936,815			
(1) 医業費用	904,114			
職員給与費	558,473	70.4	60.2	76.8
材料費	132,354	16.7	25.3	14.4
(うち薬品費)	98,269	12.4	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,085	4.3	11.6	6.0
減価償却費	6,884	0.9	9.0	11.4
経費	204,617	25.8	22.5	31.5
(うち委託料)	122,524	15.4	12.5	14.5
研究研修費	1,657			
資産減耗費	129			
(2) 医業外費用	32,701			
(うち支払利息)	12	-	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-90,072			
純損益	-84,762			
累積欠損金	601,681			
経常収支比率	90.4		105.6	103.4
医業収支比率	87.8		85.1	74.3
修正医業収支比率	87.8		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	4.5		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	4.8		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	4.5		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	86.3		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,522,893
1 固定資産	9,325,263
(1) 有形固定資産	9,313,529
(2) 無形固定資産	11,734
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,197,630
(1) 現金及び預金	1,179,529
(2) 未収金及び未収収益	1,984,172
(3) 貸倒引当金()	8,957
(4) 貯蔵品	42,886
3 繰延資産	-
負債合計	8,903,507
1 固定負債	6,375,461
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,266,728
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,108,733
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,362,138
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	769,119
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	471,798
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,077,370
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	165,908
(1) 長期前受金	582,493
(2) 長期前受金収益化累計額()	416,585
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,619,386
1 資本金	8,857,027
2 剰余金	-5,237,641
(1) 資本金剰余金	10,224
(2) 利益剰余金	-5,247,865
負債・資本合計	12,522,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	38,171	38,217
資本勘定繰入	5,757	5,757
計	43,928	43,974

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	高岡市				
病院名	高岡市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,068 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	333	70.3	67.6	80.5
療養	-	-	-	-
結核	12	43.6	28.6	0.4
精神	50	60.4	59.0	55.9
感染症	6	-	4.9	0.4
計	401	67.2	64.4	73.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	13.1	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	166,393	
決算規模(千円)	74,667,063	
標準財政規模(千円)	40,587,207	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	82.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	120.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,114,826			
1 経常収益	10,109,787			
(1) 医業収益	7,791,350			
(うち修正医業収益)	7,709,763			
入院収益	5,487,252			
外来収益	2,021,099			
診療収入計	7,508,351			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	282,999			
(うち他会計負担金)	81,587			
(2) 医業外収益	2,318,437			
(うち国・都道府県補助金)	1,425,261			
(うち他会計補助・負担金)	816,069			
(うち長期前受金戻入)	46,071			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,039			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,869,781			
2 経常費用	8,864,744			
(1) 医業費用	8,409,832			
職員給与費	4,389,771	56.3	60.2	57.5
材料費	1,662,507	21.3	25.3	27.9
(うち薬品費)	901,431	11.6	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	692,665	8.9	11.6	12.6
減価償却費	632,960	8.1	9.0	8.1
経費	1,710,101	21.9	22.5	19.1
(うち委託料)	880,269	11.3	12.5	10.0
研究研修費	10,781			
資産減耗費	3,712			
(2) 医業外費用	454,912			
(うち支払利息)	139,989	1.8	1.2	1.1
(3) 特別損失	5,037			
損益	1,245,043			
純損益	1,245,045			
累積欠損金	9,290,450			
経常収支比率	114.0		105.6	105.7
医業収支比率	92.6		85.1	88.4
修正医業収支比率	91.7		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.5		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	8.9		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	103.9		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,612,746
1 固定資産	8,299,895
(1) 有形固定資産	8,295,614
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	4,281
2 流動資産	3,312,851
(1) 現金及び預金	2,101,446
(2) 未収金及び未収収益	1,183,758
(3) 貸倒引当金()	4,918
(4) 貯蔵品	32,220
3 繰延資産	-
負債合計	8,995,785
1 固定負債	6,325,949
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,325,949
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	2,133,666
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,036,631
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	302,429
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	766,172
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	536,170
(1) 長期前受金	1,098,412
(2) 長期前受金収益化累計額()	562,242
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,616,961
1 資本金	11,907,411
2 剰余金	-9,290,450
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-9,290,450
負債・資本合計	11,612,746
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	878,954	897,656
資本勘定繰入	87,495	88,761
計	966,449	986,417

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	119.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		富山県	
市町村・組合名	氷見市		
病院名	金沢医科大学 氷見市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	24,217 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 へ 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	245	74.9	77.9	77.2
療養	-	-	-	-
結核	5	3.6	4.9	2.3
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	73.5	76.5	75.7
平均在院日数(一般病床のみ)		18.2	17.7	18.0

設立団体の状況	
人口(人)	43,950
決算規模(千円)	26,536,500
標準財政規模(千円)	12,802,894
財政力指数	0.47
経常収支比率(%)	81.4
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.5
将来負担比率(%)	41.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	935,278			
1 経常収益	935,278			
(1) 医業収益	239,666			
(うち修正医業収益)	178,208			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	239,666			
(うち他会計負担金)	61,458			
(2) 医業外収益	695,612			
(うち国・都道府県補助金)	10,308			
(うち他会計補助・負担金)	516,196			
(うち長期前受金戻入)	38,893			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,241,734			
2 経常費用	1,241,734			
(1) 医業費用	1,179,663			
職員給与費	28,904	12.1	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	458,755	191.4	9.0	9.9
経費	685,177	285.9	22.5	28.4
(うち委託料)	8,825	3.7	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	6,827			
(2) 医業外費用	62,071			
(うち支払利息)	61,130	25.5	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常				
純損益	-306,456			
累積欠損金	7,929,822			
経常収支比率	75.3		105.6	104.2
医業収支比率	20.3		85.1	81.4
修正医業収支比率	15.1		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	61.8		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	241.0		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	61.8		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	28.8		93.6	91.0

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,545,238
1 固定資産	4,299,799
(1) 有形固定資産	4,204,124
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	95,675
2 流動資産	245,439
(1) 現金及び預金	24,122
(2) 未収金及び未収収益	221,317
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,958,404
1 固定負債	3,895,490
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,895,490
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	669,510
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	433,121
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	236,013
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	393,404
(1) 長期前受金	553,732
(2) 長期前受金収益化累計額()	160,328
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-413,166
1 資本金	7,379,742
2 剰余金	-7,792,908
(1) 資本剰余金	136,914
(2) 利益剰余金	-7,929,822
負債・資本合計	4,545,238
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	413,166
資本不足額(繰延収益控除後)()	19,762
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	457,558	577,654
資本勘定繰入	251,713	287,038
計	709,271	864,692

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3308.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	黒部市				
病院名	黒部市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	48,784 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	405	65.6	67.6	80.4
療養	-	-	-	-
結核	5	6.3	23.5	10.9
精神	-	-	-	-
感染症	4	5.1	1.0	0.4
計	414	64.3	66.4	78.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	11.4	12.2

設立団体の状況	
人口(人)	39,638
決算規模(千円)	25,273,857
標準財政規模(千円)	13,560,983
財政力指数	0.65
経常収支比率(%)	84.8
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	10.9
将来負担比率(%)	111.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,408,568			
1 経常収益	12,402,098			
(1) 医業収益	10,278,306			
(うち修正医業収益)	10,073,306			
入院収益	5,632,521			
外来収益	3,924,318			
診療収入計	9,556,839			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	721,467			
(うち他会計負担金)	205,000			
(2) 医業外収益	2,123,792			
(うち国・都道府県補助金)	1,268,880			
(うち他会計補助・負担金)	423,980			
(うち長期前受金戻入)	51,239			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,470			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,782,557			
2 経常費用	11,776,087			
(1) 医業費用	10,667,693			
職員給与費	5,123,518	49.8	60.2	57.5
材料費	2,831,601	27.5	25.3	27.9
(うち薬品費)	1,681,048	16.4	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,079,833	10.5	11.6	12.6
減価償却費	1,070,981	10.4	9.0	8.1
経費	1,607,250	15.6	22.5	19.1
(うち委託料)	841,355	8.2	12.5	10.0
研究研修費	23,549			
資産減耗費	10,794			
(2) 医業外費用	1,108,394			
(うち支払利息)	112,932	1.1	1.2	1.1
(3) 特別損失	6,470			
損益	626,011			
純損益	626,011			
累積欠損金	310,314			
経常収支比率	105.3		105.6	105.7
医業収支比率	96.3		85.1	88.4
修正医業収支比率	94.4		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	5.1		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,733,826
1 固定資産	12,961,620
(1) 有形固定資産	12,724,840
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	236,780
2 流動資産	5,772,206
(1) 現金及び預金	3,711,752
(2) 未収金及び未収収益	2,001,744
(3) 貸倒引当金()	3,327
(4) 貯蔵品	61,739
3 繰延資産	-
負債合計	11,538,265
1 固定負債	8,368,705
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,283,402
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	85,303
2 流動負債	2,375,436
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	865,427
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	312,664
(6) リース債務	24,372
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,133,011
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	794,124
(1) 長期前受金	1,393,506
(2) 長期前受金収益化累計額()	599,382
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,195,561
1 資本金	7,012,931
2 剰余金	182,630
(1) 資本剰余金	492,944
(2) 利益剰余金	-310,314
負債・資本合計	18,733,826
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	951,253	628,980
資本勘定繰入	341,570	30,000
計	1,292,823	658,980

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		富山県	
市町村・組合名	砺波市		
病院名	市立砺波総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	47,729 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	418	67.6	71.6	71.4
療養	-	-	-	-
結核	5	35.0	8.0	21.1
精神	44	41.3	52.7	58.4
感染症	4	62.5	32.9	52.0
計	471	64.8	68.8	69.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	15.1	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	48,154	
決算規模(千円)	23,740,200	
標準財政規模(千円)	14,190,229	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.1
	将来負担比率(%)	29.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,753,821			
1 経常収益	11,747,442			
(1) 医業収益	9,727,554			
(うち修正医業収益)	9,495,006			
入院収益	5,990,832			
外来収益	3,282,740			
診療収入計	9,273,572			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	453,982			
(うち他会計負担金)	232,548			
(2) 医業外収益	2,019,888			
(うち国・都道府県補助金)	899,335			
(うち他会計補助・負担金)	849,452			
(うち長期前受金戻入)	85,037			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,379			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,298,470			
2 経常費用	11,292,125			
(1) 医業費用	10,634,505			
職員給与費	5,814,634	59.8	60.2	57.5
材料費	2,441,579	25.1	25.3	27.9
(うち薬品費)	1,351,783	13.9	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,027,271	10.6	11.6	12.6
減価償却費	831,387	8.5	9.0	8.1
経費	1,490,142	15.3	22.5	19.1
(うち委託料)	848,015	8.7	12.5	10.0
研究研修費	17,796			
資産減耗費	38,967			
(2) 医業外費用	657,620			
(うち支払利息)	107,155	1.1	1.2	1.1
(3) 特別損失	6,345			
損益	455,317			
純損益	455,351			
累積欠損金	2,563,542			
経常収支比率	104.0		105.6	105.7
医業収支比率	91.5		85.1	88.4
修正医業収支比率	89.3		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	9.2		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	94.5		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,970,295
1 固定資産	10,167,023
(1) 有形固定資産	9,879,599
(2) 無形固定資産	3,594
(3) 投資その他の資産	283,830
2 流動資産	3,803,272
(1) 現金及び預金	2,071,738
(2) 未収金及び未収収益	1,660,356
(3) 貸倒引当金()	5,000
(4) 貯蔵品	76,178
3 繰延資産	-
負債合計	9,874,099
1 固定負債	6,708,285
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,708,285
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	2,148,899
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	996,040
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	401,440
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	732,644
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,016,915
(1) 長期前受金	2,227,928
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,211,013
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,096,196
1 資本金	6,315,719
2 剰余金	-2,219,523
(1) 資本剰余金	344,019
(2) 利益剰余金	-2,563,542
負債・資本合計	13,970,295
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,391,526	1,082,000
資本勘定繰入	619,749	18,000
計	2,011,275	1,100,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	南砺市				
病院名	南砺市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	16,674 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	175	78.6	79.3	86.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	175	78.6	79.3	86.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	15.5	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	47,937	
決算規模(千円)	36,711,101	
標準財政規模(千円)	22,305,160	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,623,428			
1 経常収益	3,617,214			
(1) 医業収益	3,114,470			
(うち修正医業収益)	3,074,782			
入院収益	1,939,764			
外来収益	997,124			
診療収入計	2,936,888			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	177,582			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	502,744			
(うち国・都道府県補助金)	92,280			
(うち他会計補助・負担金)	376,435			
(うち長期前受金戻入)	23,330			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,214			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,728,600			
2 経常費用	3,725,326			
(1) 医業費用	3,577,884			
職員給与費	2,123,462	68.2	60.2	66.7
材料費	435,430	14.0	25.3	17.8
(うち薬品費)	209,056	6.7	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	188,847	6.1	11.6	9.2
減価償却費	260,306	8.4	9.0	10.4
経費	749,890	24.1	22.5	28.7
(うち委託料)	389,432	12.5	12.5	13.3
研究研修費	7,373			
資産減耗費	1,423			
(2) 医業外費用	147,442			
(うち支払利息)	35,093	1.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	3,274			
経常損益	-108,112			
純損益	-105,172			
累積欠損金	1,722,725			
経常収支比率	97.1		105.6	105.7
医業収支比率	87.0		85.1	80.6
修正医業収支比率	85.9		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.5		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.4		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	11.5		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	85.9		93.6	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,627,438
1 固定資産	8,262,481
(1) 有形固定資産	8,188,102
(2) 無形固定資産	24,509
(3) 投資その他の資産	49,870
2 流動資産	3,364,957
(1) 現金及び預金	2,338,362
(2) 未収金及び未収収益	1,024,561
(3) 貸倒引当金()	10,338
(4) 貯蔵品	12,372
3 繰延資産	-
負債合計	7,158,792
1 固定負債	5,017,970
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,675,159
(2) その他の企業債	6,811
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	336,000
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,356,209
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	660,086
(2) その他の企業債	2,723
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	68,000
(5) 引当金	226,319
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	374,966
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	784,613
(1) 長期前受金	1,361,973
(2) 長期前受金収益化累計額()	577,360
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,468,646
1 資本金	9,691,337
2 剰余金	-5,222,691
(1) 資本金剰余金	13,117
(2) 利益剰余金	-5,235,808
負債・資本合計	11,627,438
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	373,939	416,123
資本勘定繰入	203,029	214,852
計	576,968	630,975

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	98.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	南砺市				
病院名	公立南砺中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	13,959 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	104	78.4	81.6	84.6
療養	45	83.2	79.9	83.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	149	79.8	81.1	84.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	14.3	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	47,937	
決算規模(千円)	36,711,101	
標準財政規模(千円)	22,305,160	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,683,353			
1 経常収益	2,682,014			
(1) 医業収益	2,185,629			
(うち修正医業収益)	2,149,335			
入院収益	1,491,133			
外来収益	581,325			
診療収入計	2,072,458			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	113,171			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	496,385			
(うち国・都道府県補助金)	54,638			
(うち他会計補助・負担金)	393,304			
(うち長期前受金戻入)	28,345			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,339			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,514,567			
2 経常費用	2,512,728			
(1) 医業費用	2,368,955			
職員給与費	1,284,406	58.8	60.2	66.7
材料費	308,845	14.1	25.3	17.8
(うち薬品費)	111,355	5.1	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	161,392	7.4	11.6	9.2
減価償却費	181,647	8.3	9.0	10.4
経費	587,976	26.9	22.5	28.7
(うち委託料)	290,145	13.3	12.5	13.3
研究研修費	2,462			
資産減耗費	3,619			
(2) 医業外費用	143,773			
(うち支払利息)	51,632	2.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	1,839			
損益	169,286			
純損益	168,786			
累積欠損金	3,513,083			
経常収支比率	106.7		105.6	105.7
医業収支比率	92.3		85.1	80.6
修正医業収支比率	90.7		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	16.0		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	19.7		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	16.0		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	89.6		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,627,438
1 固定資産	8,262,481
(1) 有形固定資産	8,188,102
(2) 無形固定資産	24,509
(3) 投資その他の資産	49,870
2 流動資産	3,364,957
(1) 現金及び預金	2,338,362
(2) 未収金及び未収収益	1,024,561
(3) 貸倒引当金()	10,338
(4) 貯蔵品	12,372
3 繰延資産	-
負債合計	7,158,792
1 固定負債	5,017,970
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,675,159
(2) その他の企業債	6,811
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	336,000
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,356,209
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	660,086
(2) その他の企業債	2,723
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	68,000
(5) 引当金	226,319
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	374,966
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	784,613
(1) 長期前受金	1,361,973
(2) 長期前受金収益化累計額()	577,360
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,468,646
1 資本金	9,691,337
2 剰余金	-5,222,691
(1) 資本金剰余金	13,117
(2) 利益剰余金	-5,235,808
負債・資本合計	11,627,438
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	412,351	429,598
資本勘定繰入	220,941	220,941
計	633,292	650,539

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	98.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	射水市				
病院名	射水市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,467 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	195	73.5	66.4	69.2
療養	-	-	-	-
結核	4	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	72.0	65.1	67.8
平均在院日数(一般病床のみ)		21.2	23.4	22.9

設立団体の状況	
人口(人)	90,742
決算規模(千円)	45,617,480
標準財政規模(千円)	26,142,361
財政力指数	0.67
経常収支比率(%)	86.7
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	8.8
将来負担比率(%)	78.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,035,958			
1 経常収益	4,033,636			
(1) 医業収益	3,351,646			
(うち修正医業収益)	3,267,134			
入院収益	2,124,692			
外来収益	888,521			
診療収入計	3,013,213			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	338,433			
(うち他会計負担金)	84,512			
(2) 医業外収益	681,990			
(うち国・都道府県補助金)	198,691			
(うち他会計補助・負担金)	434,762			
(うち長期前受金戻入)	26,626			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,322			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,878,025			
2 経常費用	3,875,703			
(1) 医業費用	3,700,352			
職員給与費	1,946,908	58.1	60.2	66.7
材料費	452,142	13.5	25.3	17.8
(うち薬品費)	186,129	5.6	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	224,605	6.7	11.6	9.2
減価償却費	349,915	10.4	9.0	10.4
経費	934,576	27.9	22.5	28.7
(うち委託料)	436,326	13.0	12.5	13.3
研究研修費	6,751			
資産減耗費	10,060			
(2) 医業外費用	175,351			
(うち支払利息)	55,411	1.7	1.2	1.3
(3) 特別損失	2,322			
損益				
経常	157,933			
純	157,933			
累積欠損金	5,166,999			
経常収支比率	104.1		105.6	105.7
医業収支比率	90.6		85.1	80.6
修正医業収支比率	88.3		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.9		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.5		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	12.9		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	90.7		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,882,643
1 固定資産	5,272,268
(1) 有形固定資産	5,133,380
(2) 無形固定資産	95,417
(3) 投資その他の資産	43,471
2 流動資産	610,375
(1) 現金及び預金	35,093
(2) 未収金及び未収収益	562,751
(3) 貸倒引当金()	799
(4) 貯蔵品	13,330
3 繰延資産	-
負債合計	6,441,626
1 固定負債	4,879,551
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,879,551
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	1,103,388
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	509,926
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	125,624
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	252,975
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	458,687
(1) 長期前受金	619,884
(2) 長期前受金収益化累計額()	161,197
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-558,983
1 資本金	4,608,016
2 剰余金	-5,166,999
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-5,166,999
負債・資本合計	5,882,643
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	558,983
資本不足額(繰延収益控除後)()	100,296
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	416,634	519,274
資本勘定繰入	284,741	288,741
計	701,375	808,015

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	284,845	9.6
令和元年度	207,396	6.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	154.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	上市町				
病院名	かみいち総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	16,312 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	148	74.5	69.8	74.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	51	59.2	57.1	62.5
感染症	-	-	-	-
計	199	70.6	66.5	71.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	15.0	16.1

設立団体の状況	
人口(人)	19,351
決算規模(千円)	11,142,316
標準財政規模(千円)	6,641,722
財政力指数	0.46
経常収支比率(%)	84.6
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	14.9
将来負担比率(%)	69.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,313,071			
1 経常収益	4,304,188			
(1) 医業収益	3,610,915			
(うち修正医業収益)	3,490,823			
入院収益	1,965,056			
外来収益	1,262,987			
診療収入計	3,228,043			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	382,872			
(うち他会計負担金)	120,092			
(2) 医業外収益	693,273			
(うち国・都道府県補助金)	244,399			
(うち他会計補助・負担金)	380,363			
(うち長期前受金戻入)	39,014			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,883			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,894,263			
2 経常費用	3,891,110			
(1) 医業費用	3,688,209			
職員給与費	2,111,214	58.5	60.2	66.7
材料費	535,871	14.8	25.3	17.8
(うち薬品費)	303,295	8.4	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	232,576	6.4	11.6	9.2
減価償却費	197,317	5.5	9.0	10.4
経費	816,235	22.6	22.5	28.7
(うち委託料)	465,086	12.9	12.5	13.3
研究研修費	11,398			
資産減耗費	16,174			
(2) 医業外費用	202,901			
(うち支払利息)	40,714	1.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	3,153			
損益	413,078			
純損益	418,808			
累積欠損金	2,621,177			
経常収支比率	110.6		105.6	105.7
医業収支比率	97.9		85.1	80.6
修正医業収支比率	94.6		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.6		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.9		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	11.6		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	97.8		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,027,526
1 固定資産	3,578,662
(1) 有形固定資産	3,500,338
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	78,324
2 流動資産	1,448,864
(1) 現金及び預金	889,737
(2) 未収金及び未収収益	552,059
(3) 貸倒引当金()	2,200
(4) 貯蔵品	9,268
3 繰延資産	-
負債合計	3,415,922
1 固定負債	2,240,944
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,240,944
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	728,774
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	302,245
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	129,700
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	283,549
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	446,204
(1) 長期前受金	1,222,830
(2) 長期前受金収益化累計額()	776,626
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,611,604
1 資本金	4,185,069
2 剰余金	-2,573,465
(1) 資本金剰余金	47,712
(2) 利益剰余金	-2,621,177
負債・資本合計	5,027,526
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	500,455	500,455
資本勘定繰入	158,973	176,173
計	659,428	676,628

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	72.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		富山県	
市町村・組合名	朝日町		
病院名	あさひ総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ト透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	17,503 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	109	84.8	82.6	92.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	109	84.8	82.6	92.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	13.0	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	11,081	
決算規模(千円)	9,163,155	
標準財政規模(千円)	5,413,243	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	83.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,336,710			
1 経常収益	3,335,114			
(1) 医業収益	2,661,093			
(うち修正医業収益)	2,605,177			
入院収益	1,431,082			
外来収益	987,537			
診療収入計	2,418,619			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	242,474			
(うち他会計負担金)	55,916			
(2) 医業外収益	674,021			
(うち国・都道府県補助金)	123,822			
(うち他会計補助・負担金)	290,932			
(うち長期前受金戻入)	232,233			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,596			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,225,674			
2 経常費用	3,216,278			
(1) 医業費用	3,030,373			
職員給与費	1,398,285	52.5	60.2	66.7
材料費	418,006	15.7	25.3	17.8
(うち薬品費)	235,150	8.8	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	152,147	5.7	11.6	9.2
減価償却費	331,348	12.5	9.0	10.4
経費	871,001	32.7	22.5	28.7
(うち委託料)	385,353	14.5	12.5	13.3
研究研修費	8,283			
資産減耗費	3,450			
(2) 医業外費用	185,905			
(うち支払利息)	74,298	2.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	9,396			
損益	118,836			
純損益	111,036			
累積欠損金	303,204			
経常収支比率	103.7		105.6	105.7
医業収支比率	87.8		85.1	80.6
修正医業収支比率	86.0		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	10.4		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	92.9		93.6	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,008,113
1 固定資産	5,381,222
(1) 有形固定資産	5,320,425
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	60,797
2 流動資産	626,891
(1) 現金及び預金	192,633
(2) 未収金及び未収収益	354,977
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	77,755
3 繰延資産	-
負債合計	4,882,380
1 固定負債	3,851,496
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,804,372
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	47,124
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	794,356
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	439,215
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	83,882
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	270,214
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	236,528
(1) 長期前受金	596,708
(2) 長期前受金収益化累計額()	360,180
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,125,733
1 資本金	1,341,685
2 剰余金	-215,952
(1) 資本金剰余金	73,252
(2) 利益剰余金	-289,204
負債・資本合計	6,008,113
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	368,646	346,848
資本勘定繰入	229,583	235,767
計	598,229	582,615

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。